

## 保育実習研究室（尾崎 司先生）

### ▶尾崎先生はどのような研究や活動に取り組んでいますか？

私は、児童学科・保育科の保育実習を統括的に担当しています。ここ数年では、児童学科・保育科の先生方と一緒に、全国に先駆けて保育実習用ルーブリックを開発し、実際に使っています。実習生が実習中に自分の成長を実感し、実習が楽しくなる仕組みを作り、オンラインでもやりとりできるようにしました。全国保育士養成協議会（関東ブロック）をはじめ、様々なところで実習用ルーブリックをテーマに講演・保育現場への研修をおこない、反響を得ています。この実習用ルーブリックの研究成果も取り込みながら、現在は「電子版保育実習記録」の研究を児童学科・保育科の先生方と始め、大きな可能性を感じています。

また、グローバル教育（地球市民教育）のファシリテーターや地域のコーディネーターを約25年間おこない、持続可能な社会を目指し「社会を創り変える学び」を実践してきました。ドイツにもフィールドワークに行き、約14年間、保育・小学校・学童施設、生物教育園、森のようちえん、こども博物館、多世代ハウスなど現地と交流しながら、教育・研究をおこなってきました。

### ▶この研究室やゼミ（4年次）のことについて教えてください。

私のゼミでは、社会に何か提案できるモノや仕組みを考えて実践してくださいと伝えています。人は現場や状況の真っ只中で必要なことを学ぶ、本物の学び（Authentic Learning）を大切にしています。たくさんの関係者と接し、動く中で、学生は私が教えるよりも多くのことを学びます。私は、その舞台を用意し、その時に必要なことだけをガイドしたり、気づきを促したり、時には教えたりします。

2020年度は、板橋区にある湖池屋さんと板橋区防災課とコラボし、防災スナックのプロジェクト研究をおこないました。ゼミでは災害時に親が子どもを連れて避難する時に何に困り、何が必要かを調べました。そして、子連れ避難に役立つ情報をInstagramで作成し、それをQRコードで袋に付与したポテトチップスを防災訓練時に配布したのです。“情報による子育て支援”ですね。これは、70を超えるメディアで報道されました。次年度も継続し、今度は外国籍親子を対象にプロジェクト研究をおこないました。

2022年度では、板橋区にオープンした無印良品板橋南町22とコラボし、「ソーシャルグッドな絵本」の展示をおこないました。現在も、板橋区や無印良品と協働し、本物の学び（Authentic Learning）をおこなっています。

### ▶もっと知りたい方へ

公園活用プロジェクト『おそとカフェ』にコミュニティデザインの可能性をみる

(<https://localnippon.muji.com/5415/> 「ローカルニッポン おそとカフェ」で検索！)

**[2022年]**  
**板橋区 防災+プロジェクトが学園貢献賞を受賞。**  
日経新聞、イット、news every.、news ZEROなどの新聞  
各紙・TV番組・ネットなど70を超えるメディアで報道。



2021年度は、育児支援の学生2名が、外国籍親子を対象にした  
災害避難の情報提供の仕組みづくりに取り組む。



2022年10月15日・16日に、尾崎ゼミは  
板橋区民まつり 無印良品ブースにて  
「ソーシャルグッドな絵本」の展示と  
読み聞かせをおこないました。

